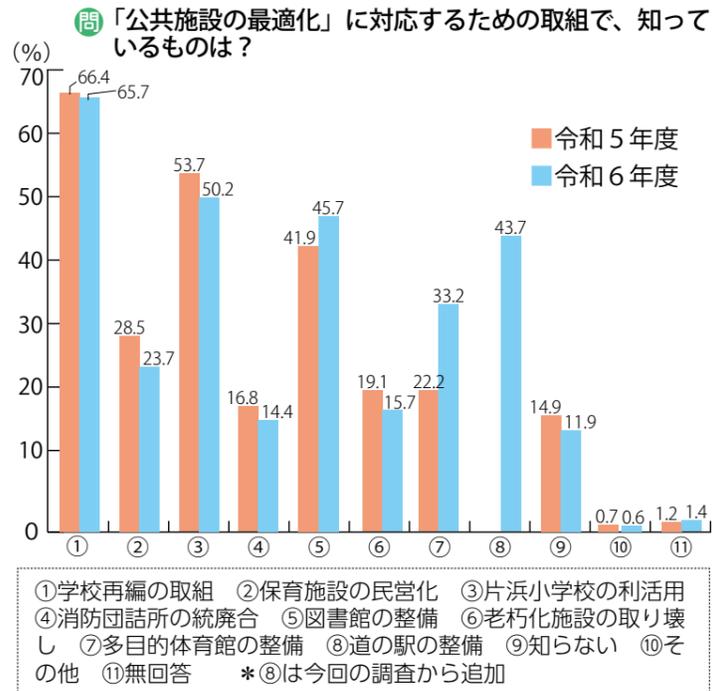


公共施設 「学校再編の取組」が6割を超え、「道の駅の整備」が約4割を超える

公共施設の最適化に向けた市の取組で知っている項目については、「学校再編の取組」が6割以上となりました。
今年度新しく開館した市立文化の森図書館「いる葉」やGasOneアリーナ牧之原（市多目的体育館）に関する設問については、「図書館の整備」が約4割以上、「多目的体育館の整備」が約3割となりました。また、「道の駅の整備」を今回追加し、約4割が「知っている」という回答結果となりました。

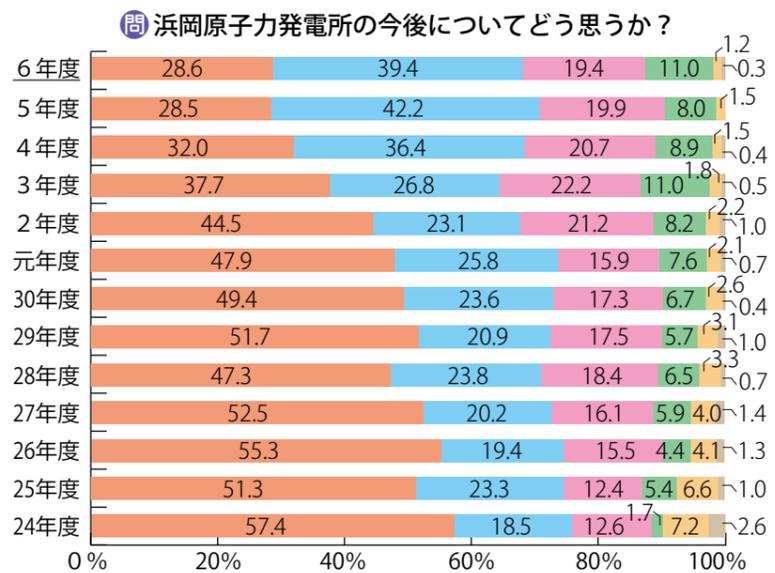
【公共施設の最適化とは】

日本では、昭和40～50年代における高度経済成長や都市化の進展に伴い、道路や橋を含めた公共施設を一斉に整備しました。これらの公共施設は、老朽化により、近い将来一斉に作り直さなければいけない時期を迎えます。しかし、人口や経済構造が変化の中で、全ての公共施設を維持・更新していくことは財政的に難しくなるため、市では公共施設の最適化に向け、計画的に取り組んでいきます。



原発 「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が約4割

浜岡原子力発電所の今後については、「安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が約4割を占める結果となりました。
次いで「停止しておいたほうがよい」が約3割、「どちらともいえない」が約2割、「わからない」が約1割となりました。
令和4年度に、「安全確認ができれば稼働したほうがよい」が「停止しておいたほうがよい」を上回り、今年度もその傾向が続いています。



市の行政サービス 「市の取組に対する満足度・重要度について」

市の行政サービス48項目について「満足しているか（満足度）」、「重要であると考えているか（重要度）」を伺いました。

■満足度トップ3

- 第1位 火災・救急などの消防体制
- 第2位 学校や地域で子どもを守る活動（軒先運動や青色パトロールなど）
- 第3位 市の情報や知りたい取組などの情報発信（広報紙や市公式LINEなど）

■重要度トップ3

- 第1位 震災・水害・浸水対策
- 第2位 火災・救急などの消防体制
- 第3位 自主防災組織の強化

令和6年度 市民意識調査結果

市では、市の取組に対する皆さんの満足度や重要度などを確認するため、「市民意識調査」を実施しました。

本年度の結果について、一部抜粋して掲載します。結果は、今後の市の各施策などに反映していきます。全設問の調査結果は、市ホームページなどで公表しています。

問い合わせ 企画政策課 中山 ☎030045

市ホームページは、右の二次元コードを読み取るか検索してご覧ください。

牧之原市 市民意識調査 検索



— 調査の概要 —

調査対象：市内在住（市内に住民票のある人）の16歳以上の市民
調査方法：無作為抽出による郵送配布・回収
調査期間：4月26日～5月10日
対象者数：1,397人（発送数：1,400人）
*対象者数は、発送数から宛先不明などによる返戻3件を除いた数です。
有効回収数：654人（郵送：424人、インターネット：230人）
有効回収率：46.8%（郵送：64.8%、インターネット：35.2%）
*端末処理の都合上、また、複数回答のため、合計が100%にならない場合があります。

居住 2人に1人以上が今住んでいる場所に「住み続けたい」

今住んでいる場所に「住み続けたい」という回答が5割以上となり、「市外へ移りたい」と「わからない」という回答が約2割となりました。「他の場所へ移りたい」と回答した人の理由としては「公共施設や大きな商店がなく生活に不便だから」が約6割となり、最も高い結果となっています。



問 今住んでいる場所に今後も住み続けたいか？



子育て 「小児科や産婦人科などの医療機関の充実」に取り組むべきが約5割

「牧之原市は子どもを育てやすい環境だと思いますか？」との問いに対し、「とても思う」と「ある程度思う」の合計が約3割という結果になりました。
子どもを育てやすい環境にするため、市が力を入れるべき取組として、「小児科医や産婦人科など医療機関の充実」が約5割となり、最も高くなっています。



問 牧之原市は子どもを育てやすい環境だと思いますか？



問 子どもを育てやすい環境にするためには、市はどんなことに力を入れるべきだと思いますか？

①小児科や産婦人科などの医療機関の充実 (54.6%) ②子育てに関する経済的支援の充実 (46.8%) ③親子で遊べる施設や公園の整備 (36.7%) ④子どもを預かる施設の充実 (34.9%) ⑤仕事や家事などの両立の支援 (32.0%) ⑥教育・文化水準の向上 (13.3%) ⑦地域で子どもを育てる意識の向上 (10.9%) ⑧悩み事を話せる相談窓口の充実 (9.6%) ⑧男性の育児・家事参加の促進 (9.6%) ⑩子育てについての積極的な情報提供 (5.4%) ⑪その他 (1.8%) ⑫無回答 (1.5%) *丸数字は回答率が高い順位